

くじ抽選の方法について（郵便入札）

郵便入札において、落札者となるべき同額の入札が2者以上の場合は、次の方法によりくじ（抽選）で落札者を決定する。

1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄にあらかじめ任意の数字「000～999」を記入する。

なお、記入のない場合などは、書留お問い合わせ番号（11桁）の下3桁の数字を記載したものとみなす。

書留お問い合わせ番号（書留引受番号）は郵便追跡用に使用する番号で、
 （3桁）-**（2桁）-**（5桁）-*(1桁) 合計11桁で表示された番号

2 くじの手順

- (1) 書留お問い合わせ番号（11桁）の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。
- (2) 同額入札の入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札者の数で除算し、余りを算出する。
- (3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)の「抽選番号」の入札参加者を落札者とする。

例) 入札参加者3者が同額入札の場合

- (1) 書留お問い合わせ番号（11桁）の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」（0, 1, 2, …）を付与する。

（※下4桁が同一の数字になった場合は、下5桁目以降高い桁の数字を順次参照する。）

業者名	お問い合わせ番号	抽選番号
A者	***-**-**123-4	0 付与
B者	***-**-**567-8	1
C者	***-**-**901-2	2

- (2) くじ番号の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算出する。

業者名	任意のくじ番号	余りを算出
A者	382	$382 + 098 + 776 = 1256$ $1256 \div 3 \text{ (者)} \cdots \underline{\text{余り } 2}$
B者	098	
C者	776	

- (3) 落札者の決定

業者名	抽選番号	落札
A者	0	
B者	1	
C者	2	○

※抽選番号と余りが一致